電気溶接用キャブタイヤケーブル2次線

安全ホルダー、アースクリップ、ケーブルジョイントの使用上の注意

警　告

不適切な、使用及び操作をしますと、感電,火傷等の重大な事故につながる危険がありますので、注意事項をよく読み理解してから使用して下さい。

●電気容量に応じた安全ホルダー、アースクリップ、ケーブルジョイントを使用してください。

●JIS規格にて定められた範囲の溶接棒径及びキャブタイヤケーブルを安全ホルダーの種類により使用してください。

●アーク光には多量の紫外線、赤外線が含まれており溶接時には保護眼鏡,遮光面を着用してください。また、難燃性の作業着、作業中は乾いた溶接用皮手袋、及び絶縁物で覆われた靴底の安全靴を着用してください。

●溶接作業は有害なガスやヒュームが発生しますので作業場の換気を良くしてください。

●溶接の火花で着火の恐れのある可燃物が周囲にある場合は，5M以上遠ざけてください。

●安全ホルダーを水の中に入れたり,雨水にさらされた状態で放置したりすることは絶対避けてください。

●ホルダーは常に絶縁カバー、絶縁ハンドル,(柄)を必ず装着し破損のない安全なものを使用してください。

●ホルダー、アースクリップ、ケーブルジョイントに接続するキャブタイヤケーブルを使用前に点検して被覆部分に傷のないことを確かめて使用してください。

●ホルダー、アースクリップ、ケーブルジョイントをキャブタイヤケーブルと接続する時は、抜けないように電線止めネジ又はボルトナットでしっかり接続してください。

●ホルダーは溶接棒以外は挟まないでください。

●溶接棒を差しかえるときは、ホルダーの充電部が身体に触れないように慎重に行ってください。

●作業休止の場合は、必ず電源スイッチを切るか、またはコネクターをはずしておき電圧のかかったままホルダーを放置しないでください。

●溶接棒が作業中にホルダーのクランプ部からはずれないように確実にクランプしてください。

●作業場に移動するは際は、ホルダー、アースクリップ、ケーブルジョイント及びキャブタイヤ-を床上に引きずらないようにしてください。

●ホルダーを使い溶接する時は、必ず接地(アース)をとってください。

●絶縁カバー、絶縁ハンドル(柄)、レバー等の絶縁部分が溶けて減った時、及び破損した場合は至急新しい部品に取替えてください。

●ホルダーを使っての溶接は、安全を確保するため、安全な取扱いができる知識と技能のある人が行ってください。